

調査対象物質	分析法フローチャート	備考
[6] エチレンジクロール [18] プロパン-1,2-ジオール	<p>【水質】</p> <pre> graph TD A["水質試料 100mL 水酸化ナトリウム 16g"] --> B["冷却 氷浴、30分間程度"] B --> C["海水試料は遠心 分離を実施。 3,000rpm、20分間"] C --> D["誘導体化 トルエン 60mL 塩化ベンゾイル 20mL 振とう30分間以上"] D --> E["トルエン層"] E --> F["脱水 無水硫酸ナトリウム"] F --> G["濃縮 ロータリーエバポレータ 2mLまで"] G --> H["定容 トルエン 5mL"] I["GC/MS/MS-SRM-EI"] H --> I J["内標準物質添加 フルオランテン-d₁₀ 50.0ng"] --> G </pre> <p>「平成27年度化学物質分析法開発調査報告書」から一部変更</p>	<p>分析原理：GC/MS/MS-SRM-EI</p> <p>検出下限値： 【水質】 (ng/L) [6] 45 [18] 33</p> <p>分析条件： 機器 GC：Shimadzu GC2010 Plus MS：Shimadzu GCMS-TQ8030 カラム Agilent J&W DB-17ms 30m×0.25mm、0.25μm</p>